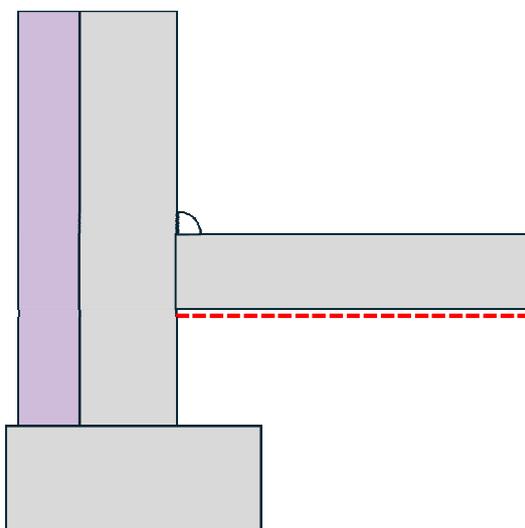


防蟻20年保証 施工要領書
【スタイロフォーム™ 基礎外断熱仕様】
—布基礎編—



発行元：(株)九州テクノ工販
断熱施工技術協力：デュポン・スタイロ(株)
初版： 2026年1月6日

目次

防蟻20年保証 施工要領書 布基礎編
【スタイロフォームTM 基礎外断熱仕様】

項目	頁
シート編 必須専用資材	2
シート編 基礎部	3
断熱材施工編 必須専用資材	5
シート編 玄関部	6
断熱材施工編 玄関部	7
シート編 玄関部	8
断熱材施工編 基礎断熱一般部	10

防蟻20年保証 施工要領書

—布基礎編—

必須専用資材

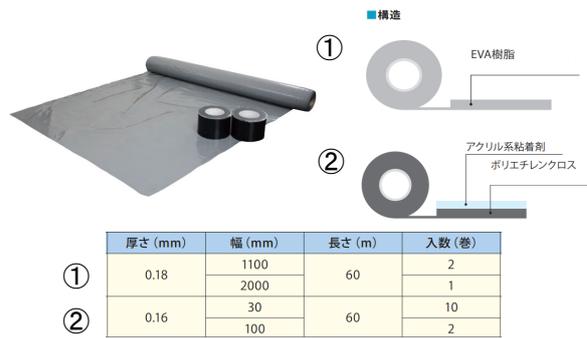
必須専用資材①②:

① 「防蟻防湿シート」

② 「防蟻テープ」

- 従来の防湿シートの代わりに敷くだけで、シロアリと湿気をシャットアウト。
- シロアリに対して忌避性・即効性・残効性のすべての性質を持つ薬剤を含浸。

基礎業者様での施工を想定しています。



注意事項

※必ず事前にお読みください。

- 防蟻防湿シート工法(20年保証)は、従来までの殺虫を基本にした防蟻対策とは異なり、忌避性を基本にした防蟻対策となります、そのため、本施工要領書を十分にご理解いただき、必ず正しい施工方法及び、現場監理を実施してください。
万一、施工不備が確認された場合には、建物が保証対象とならない場合もございます。
- 長期優良住宅認定などの取得要件で、劣化対策等級3を充たす必要がある場合には、別途、「外壁の軸組等の防蟻防蟻」として、薬剤処理等が求められます。
薬剤処理にあたっては、防蟻防湿シート工法(20年保証)の必須専用資材との相性を事前に確認した薬剤にて、専門の防蟻業者にて施工するようにご注意ください。
※防蟻防湿シート、防蟻テープにつきましては、スタイロフォームTMの購入窓口にお問い合わせください。

防蟻20年保証 施工要領書

一布基礎編一

基礎部 -①-

●工事全体の流れ/手順/ポイント

一手順①一

写真の様に防蟻防湿シートを基礎底板全面に敷き詰めます。
※フーチング下部に防蟻防湿シートは施工不要です。



(図1: 砕石敷き込み・転圧後)

一手順②一

基礎立上り端部までしっかり敷き詰めます。
配管貫通部分の継ぎ目には防蟻テープで隙間を塞ぎます。
防蟻テープで隙間を塞ぎます。
防蟻防湿シートに破れや穴が生じた場合は防蟻テープで補修します。



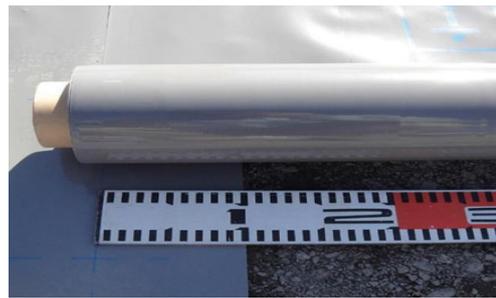
(図2: 防蟻防湿シート敷き込み後①)

【重ね代について】

防蟻防湿シートは100mmの重ね代で敷き詰めます。
防蟻防湿シートのは重ね代部分に防蟻テープを施工します。

*注意点

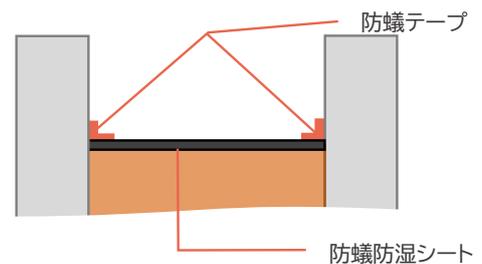
- ・テープは防蟻防湿シート継目全面に張ります。
- ・テープはシートの浮きや隙間ができないようにしっかりと圧着します。
- ・重ね代は100mmです。



(図3: 重ね代の例 最低 100 mm以上)

一手順③一

防蟻防湿シート施工後四方端部に防蟻テープを施工します。
防蟻防湿シートと基礎立上りに掛かるように防蟻テープを貼り付けます。
防蟻防湿シートを基礎に100mm程度立ち上げ、テープで目張りする方法も可能です。



(図4: 防蟻テープ施工位置)

※重要

防蟻防湿シートを貫通する部分は防蟻テープで補修してください。
防蟻防湿シート施工後に雨が降りシート上に水が溜まった場合、雨上がりにシートに穴をあけて排水してください。
その後、穴を開けた箇所は防蟻テープで必ず補修してください。



(図5: 配管貫通部処理方法)

防蟻20年保証 施工要領書

一布基礎編一

必須専用資材

必須専用資材①②:

① 防蟻断熱材「スタイロフォーム™AT」

- 防シロアリ性能があり、吸水性が低くコンクリートと同時打込みも可能なので、基礎外側断熱工法に適した断熱材です。

② 防蟻断熱材スタイロフォーム™AT専用接着剤「AT-02」

- 防蟻断熱材スタイロフォーム™ATを使用した基礎断熱工法の断熱材目地の防蟻措置やコンクリート打ち継ぎ部等の防蟻措置等に用いる接着剤です。

基礎業者様での施工を想定しています。



スタイロフォーム™ AT 防蟻接着剤 AT-02

■物性

JIS A 9521:「建築用断熱材」押出法ポリスチレンフォーム断熱材

	JIS規格/単位	スタイロフォーム™AT	試験法
JIS製品記号	JIS A 9521	XPS3bA	-
密度	kg/m ³	25以上	JIS A 9521
熱伝導率	W/(m・K)	0.028以下	JIS A 9521
透湿係数	ng/(m ² ・s・Pa)	145以下	JIS A 9521

必須専用資材③:

「テクノ防蟻フォーム」

- 断熱、気密性能はそのままに防蟻効果をプラス。環境に配慮したノンフロン。
- 用途に応じてノズルとガンの2仕様で使用可能。
注)ガンは別売りです。

大工様または設備業者(配管回り)様での施工を想定しています。



■施工方法



容量 (ml)	施工目安 (ノズル使用)	入数 (本)	付属品	有効成分	フォーム色
750	直径20mmで90m	12 (1/2出射可能)	ノズル 各1本	アセタミプリド (ネオニコチノイド系防蟻剤)	オレンジ



注意事項

※必ず事前にお読みください。

- 本工法は、防蟻防湿シート工法(20年保証)に付随する工法として、断熱材を用いた基礎断熱工法専用の防蟻対策防蟻防湿シート工法(20年保証)を前提に使用する工法なので、防蟻防湿シート工法以外の工法で使用する場合、20年保証は適用されません。
また、本施工要領書を十分にご理解いただき、必ず正しい施工方法及び、現場管理を実施してください。
万一、施工不備が確認された場合には、建物が保証対象とならない場合もございます。
- 長期優良住宅認定などの取得要件で、劣化対策等級3を充たす必要がある場合には、別途、「外壁の軸組等の防腐防蟻」として、薬剤処理等が求められます。
薬剤処理にあたっては、防蟻防湿シート工法(20年保証)の必須専用資材との相性を事前に確認した薬剤にて、専門の防蟻業者にて施工するようにご注意ください。
※テクノ防蟻フォームにつきましては、スタイロフォーム™の購入窓口にお問い合わせください。

防蟻20年保証 施工要領書

—布基礎編—

玄関部 -①-

—手順①—

手順としては

- ①防蟻防湿シート敷き込み
- ②碎石の埋め戻し
- ③埋め戻した碎石の上に防蟻防湿シートで敷き込み、
四隅を防蟻テープで貼りつける。

各工務店様によって、施工手順は変わりますが、玄関部の底盤と一番上に防蟻防湿シートをかぶせ、四隅を防蟻テープで貼り付けてください。



(図7:玄関土間の施工例②防蟻防湿シート敷き込み)

*注意事項

*必ずテクノ防蟻フォーム施工後、施工部位の写真撮影をお願いします。

防蟻保証適用申請の際に写真が必要になります。写真がない場合は、保証申請が出来ませんのでご注意ください。

*施工写真を撮る際、看板ボードに施工日付と現場名を明記してください。

防蟻20年保証 施工要領書

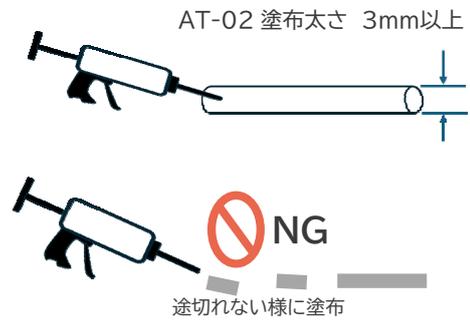
一布基礎編一

玄関部 -②-

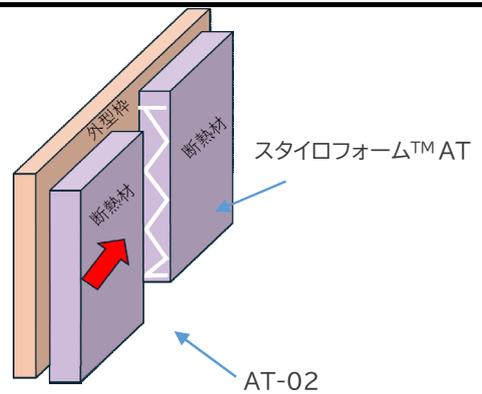
●スタイロフォーム™ AT施工位置

※ 基礎外断熱は基礎外周部全ての部位において、必ず防蟻断熱材「スタイロフォーム™ AT」を施工してください。

- ① 防蟻接着剤「AT-02」の塗布は、断熱材小口直径3mm程度の線状塗布、コンクリート打ち継ぎ部直径5mm以上としてください。
- ② 接着剤が途切れないように塗布する必要があります。

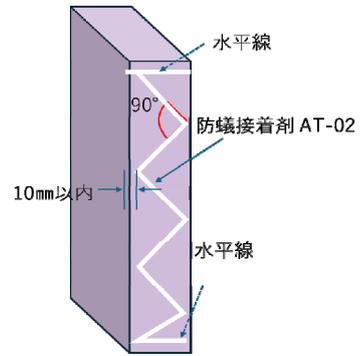
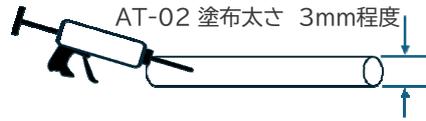


- ① 断熱材「スタイロフォーム™ AT」は必ず基礎コンクリートの打設に合わせて打込みとしてください。
- ② 土間コンクリートを打設する前に、予め外型枠に断熱材を設置してください。
- ③ 断熱材の小口の部分は、防蟻接着剤「AT-02」をジグザグ状に塗布し、隣り合う断熱材の小口部に密着固定させてください。
- ④ 断熱材は、コンクリート打設によりズレが生じないように、強固に固定しておいてください。



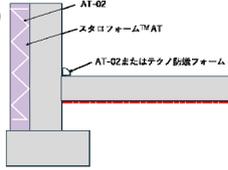
- ① 基礎外型枠に設置するに際し、断熱材の小口部分に防蟻断熱材をジグザグ状に塗布してください。

塗布要領は左図を参照ください。



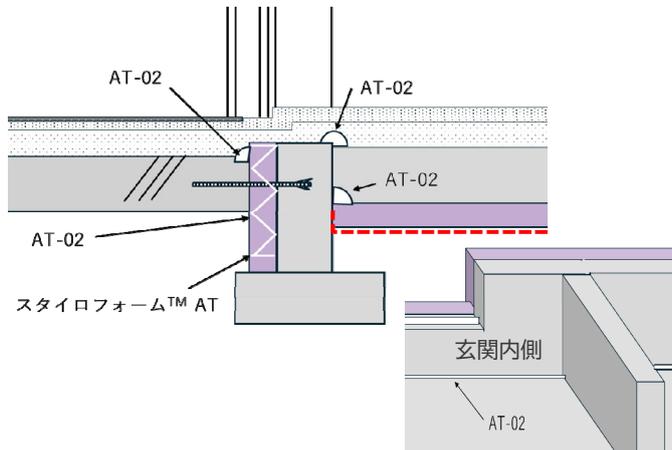
基礎外断熱時の防蟻施工(AT-02施工)

基礎外周へ断熱材を施工する際は防蟻断熱材「スタイロフォーム™ AT」の使用が必須となります。断熱材は基礎コンクリート天端で切り揃えます。



(図 1:断熱材天端部)

スタイロフォーム™ ATを打込み施工する場合



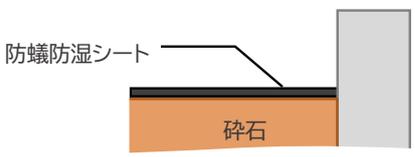
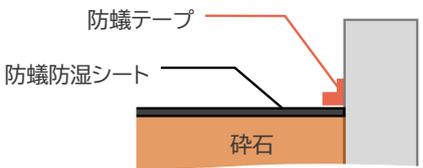
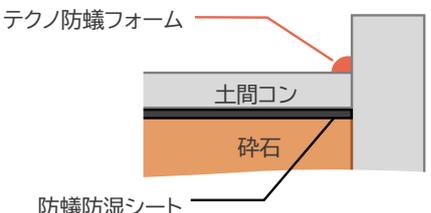
- ① 基礎天端 ドアフレーム下部付近に「AT-02」を施工してください。
- ② タイル下地を打設する前に、玄関ポーチ部の土間コンクリートとスタイロフォーム™ ATの継ぎ目に「AT-02」を施工してください。
- ③ 断熱材の小口の縦目地部分には、「AT-02」を断熱材の幅一杯にジグザグに塗布して、断熱材どうしを貼り合わせてください。

防蟻20年保証 施工要領書

一布基礎編一

玄関部 -③-

●砕石埋め戻しの場合の施工手順

<p>—手順①—</p> <p>玄関部分に砕石(土砂)を埋め戻します。 *玄関の埋め戻し部分に防蟻防湿シートを被せます。</p> 	 <p>玄関の埋め戻し部分に 防蟻防湿シートを 敷き込みます。</p> <p>(図 1:玄関部 砕石埋め戻し)</p>
<p>—手順②—</p> <p>被せた防蟻防湿シートの四隅を防蟻テープで 目張りします。</p> 	 <p>(図 2:玄関部 砕石埋め戻し後防蟻防湿シート施工)</p>
<p>—手順③—</p> <p>玄関コンクリートが固まった後、基礎立ち上がりと土間 との取り合い部分にテクノ防蟻フォームを施工します。</p> 	 <p>(図 3:玄関部 テクノ防蟻フォーム施工)</p>
<p>*注意事項</p> <p>*必ずテクノ防蟻フォーム施工後、施工部位の写真撮影をお願いします。</p> <p>防蟻保証適用申請の際に写真が必要になります。写真がない場合は、保証申請が出来ませんのでご注意ください。</p> <p>*施工写真を撮る際、看板ボードに施工日付と現場名を明記してください。</p>	

防蟻20年保証 施工要領書

—布基礎編—

玄関部 -④-

●生コンでの埋め戻しの場合の施工手順

—手順①—

砕石はなく、コンクリートで埋め戻しする場合



(図 1: 玄関部 コンクリートによる埋め戻し)

—手順②—

玄関部にコンクリートを流して埋め戻す場合、
玄関コンクリートが固まった後、立ち上がり部分と土間部分
との取り合い部にテクノ防蟻フォームを施工します。

テクノ防蟻フォーム



(図 2: 玄関部 テクノ防蟻フォーム施工)

*注意事項

- *必ずテクノ防蟻フォーム施工後、施工部位の写真撮影をお願いします。
防蟻保証適用申請の際に写真が必要になります。写真がない場合は、保証申請が出来ませんのでご注意ください。
- *施工写真を撮る際、看板ボードに施工日、現場名を明記してください。

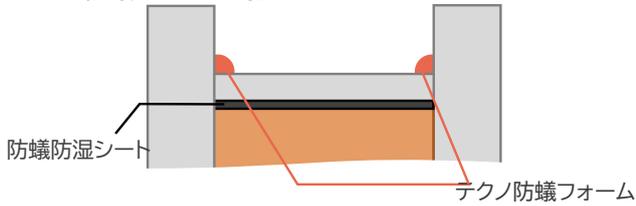
防蟻20年保証 施工要領書

一布基礎編一

テクノ防蟻フォーム

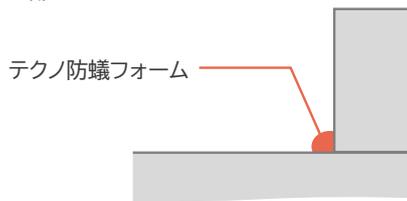
●テクノ防蟻フォーム施工手順

基礎立上りと防湿コンクリートの取合い部に
テクノ防蟻フォームを施工します。



(図1:立上り・防湿コンクリート取合い部に施工)

基礎打ち継ぎ部

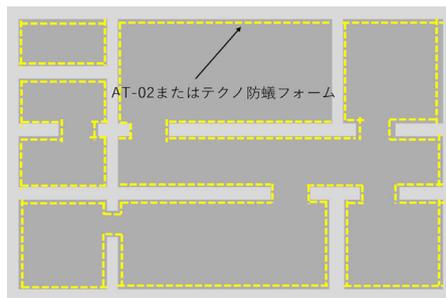


基礎のベースと立ち上がりの打ち継ぎ部分(基礎外周全周)
にテクノ防蟻フォームを施工します。



(図2:基礎外周全周 テクノ防蟻フォーム施工)

基礎打ち継ぎ部



基礎のベースと立ち上がりの打ち継ぎ部分を
防蟻接着剤「AT-02」、または「テクノ防蟻フォーム」で
施工します。



(図3:基礎外周全周 テクノ防蟻フォーム施工)

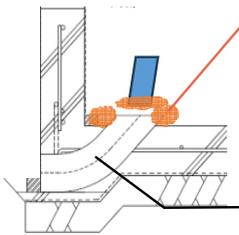
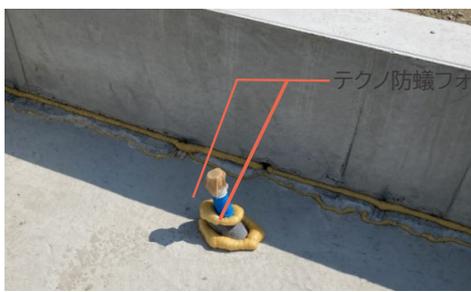
配管貫通部

配管周りにテクノ防蟻フォームを施工します。

さや管と給水管等の隙間にも
テクノ防蟻フォームを施工します。



(図4:スリーブ・配管隙間に施工)

<p>【基礎貫通スリーブの場合】</p>  <p>テクノ防蟻フォーム</p> <p>基礎と基礎貫通スリーブ外周の接地面にテクノ防蟻フォームを施工します。さや管と給水管等の隙間にもテクノ防蟻フォームを施工します。</p> <p>さや管</p>	 <p>テクノ防蟻フォーム</p> <p>(図 5:基礎貫通スリーブ テクノ防蟻フォーム施工)</p>
<p>水抜き穴</p> <p>上棟後、雨仕舞後に水抜き穴を埋めます。セパレータ等の穴も同時にフォームで埋めます。</p>	 <p>テクノ防蟻フォーム</p> <p>(図 6:水抜き穴 テクノ防蟻フォーム施工)</p>

■防蟻保証の適用には防蟻防湿シートの施工の他に基礎貫通部にテクノ防蟻フォームの施工が必要です。

【テクノ防蟻フォーム施工必須部位】

- 基礎天端部分の断熱材と基礎コンクリートの継ぎ目部分を塞ぐように、テクノ防蟻フォームで施工していきます。
- 配管廻り、玄関(室内側)の立ち上がり部分も施工していきます。
- 上棟後、雨仕舞後に水抜き穴を埋めます。
 - * 玄関部分のテクノ防蟻フォーム施工に関しては施工方法が異なる為、前項目の「玄関部施工仕様書 保証適用仕様」の玄関部分に砕石を埋め戻す場合の方法か、玄関部分に生コンを直接埋め戻す場合の方法のどちらかの施工をお願いします。
 - * 防蟻保証適用申請の際に写真が必要になるため、施工後、施工部位の写真撮影をお願いします。
 - * 施工写真を撮る際、看板ボードに施工日付と現場名を明記してください。

***注意事項**
 玄関部分のテクノ防蟻フォーム施工に関しては施工方法が異なる為、全項目の「玄関部施工仕様書 保証適用仕様」の玄関部分に砕石を埋め戻す場合の方法か、玄関部分に生コンを直接埋め戻す場合の方法のどちらかの施工をお願いします。
 施工後、保証適用申請の際に写真が必要になりますので施工部位の写真撮影をお願いします。
 *施工写真を撮る際、看板ボードに施工日付と現場名を明記してください。

■注意点まとめ

施工後、施工部位の写真は必ず撮影してください。

防蟻保証適用申請の際に写真が必要になります。

保証申請に必要な写真は、以下の4つになります。

- シート施工の全景写真
- 玄関部の施工写真
- テクノ防蟻フォーム施工写真(配管廻り、基礎外周部施工写真)
- スタイロフォームTM ATを設置する際の小口部接着剤塗布状況

本保証に関するお問い合わせは、下記もしくは担当営業までご連絡ください。

防蟻防湿シート関連:株式会社九州テクノ工販
電話:092-408-7884
メール: info@9-techno.com

断熱材関連:デュポン・スタイロ株式会社
<https://www.dupontstyro.co.jp/inquiry.php>